

令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 特環公共下水道管渠埋設工事(1工区)補助分

## 数量計算書

令和4年10月

管径 路線番号

φ200 箕輪町 沢 沢上南4 県道 伊那箕輪線 町道168号線、他(開削)

473-1

473-4

L= 74.50 m

令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 特環公共下水道管渠埋設工事(1工区)補助分  
 数量総括表  
 内径 200 mm 下水道用硬質塩化ビニール管

上段: 変更  
 下段: 当初

管路延長 m	管渠延長 m	基礎延長 m	管 材 料					付 帯 工					本 管 土 工																						
			塩化ビニール管					舗装切斷工		舗装版取り壊し工			As殻処分工		掘 削 工			砂 基 礎 工				砕石戻工(管上10cm~30cm)				生土埋戻工(管上10cm~30cm)				埋 戻 工			残 土 処 分 工		
			直 管	可 撓 手 上 湖	可 撓 手 下 流	可 撓 手 上 流	MH可撓手 φ200	支 取 付 工 箇 所	As舗装 t=15cm迄	As舗装 t=30cm迄	As舗装 t=15cm迄	As舗装 t=15cm迄	As舗装 t=15cm迄	機 種 0.28B.H	機 種 0.45B.H	機 種 0.80B.H	投入機種 0.28B.H	投入機種 0.45B.H	投入機種 0.80B.H	投入機種 0.28B.H	投入機種 0.45B.H	投入機種 0.80B.H	投入機種 0.28B.H	投入機種 0.45B.H	投入機種 0.80B.H	発生土 0.28B.H	発生土 0.45B.H	発生土 0.80B.H	砕石 0.28B.H	砕石 0.45B.H	砕石 0.80B.H	0.28BH横込	0.45BH横込	0.8BH横込	
74.50	71.99	72.38	16.60	2	2		137.0	62.6		2.5		165.0				23.9			0.3		12.3				98.7				3.9			41.7			
74.5	71.9	72.3	16.6	2	2							160				23			0.3		12				98				3			41			

建 込 簡 易 土 留 工									
シ ン グ ル レ ー ル									ダ ブ ル レ ー ル
H=1.5m	H=2.0m	H=2.5m	H=3.0m	H=3.5m	H=4.0m	H=4.5m	H=5.0m	H=5.5m	H=6.0m
m	m	m	m	m	m	m	m	m	m
		1.00	60.00	7.50					
		1.0	60.0	7.5					

付 帯 工																
県 道 車 道 復 旧													町 道 ア ス フ ァ ル ト 舗 装			
表 層 工	路面補修工	上層路盤工	下層路盤工	路盤工	路盤工	表 層 工	上層路盤工	上層路盤工	下層路盤工	砂利道	舗装切斷工	舗装取壊工	AS殻、Co殻処分工			
粗粒度 t=5cm	t=5cm	M40-0 t=15cm	CR40-0 t=25cm	RC40-0 t=35cm	RC40-0 t=35cm	As20F t=4cm	M25-0 t=10cm	M25-0 t=15cm	RC40-0 t=25cm	RC40-0 t=35cm	RC40-0 t=15cm迄	AS舗装 t=15cm迄	Co舗装 t=15cm迄	AS舗装 t=15cm迄	Co舗装 t=15cm迄	
m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
						135.4	62.6			62.6			72.8			3.0

加重平均 深			2.38	2.57	2.70										2.58
-----------	--	--	------	------	------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------

人 孔 鉄 蓋		調整モルタル工		調 整 リ ン グ						1 号 組 立 マ ン ホ ー ル 材 料						斜 壁 プ ロ ッ ク						駆 体 プ ロ ッ ク						底 版
T-14	T-25	20mm	40mm	5cm	10cm	15cm	30cm	45cm	60cm	30cm	60cm	90cm	120cm	150cm	180cm	210cm	240cm	60cm	90cm	120cm	150cm	180cm	210cm	240cm				
組	組	箇所	箇所	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個		
1	1			2		2		1	1			1												2		2		

削 孔 費		ブ ロ ッ ク 据 付 工		底 部 工		副 管 工 (外副管)									
本 管 部	VU	取 付 管 部	1.2<H	3.0m<H		標 準	基礎のみ	インバートのみ	平均延長	設置数	取付管用片 受け直管	可撓継手 支管	カラー管	曲 管	砕 石 基 礎 工
VU 150mm	VU 200mm	VU 150mm	≤3.0	箇所	平均	箇所	箇所	箇所	m	箇所	m	本	本	本	m <sup>2</sup>
箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	m	箇所	箇所	箇所		箇所	m	本	本	本	m <sup>2</sup>
		2		2			2								

小口径マール			
立管長 200mm	防護蓋 T-14	防護蓋 T-25	そ の 他 部 材 等
(m)	(組)	(組)	小口径マール 数量表による
3.1	2	1	1

汚 水 樹 設置 及 び 取 付 管 工																																	
汚水樹 設置個数	鉄蓋	塩ビ蓋	取付管 平均長さ φ150	掘 削 工					砂 基 礎 工				砂 埋 戻 工				埋 戻 工				残土処分工	舗装切斷工	舗装取壊工	As殻処分工	路面補修工	表 層 工	上層路盤工	下層路盤工	砂 利 道	表 層 工	上層路盤工	取付管土留	
				機 種	投入機種	投入機種	投入機種	投入機種	機 種	投入機種	投入機種	投入機種	機 種	投入機種	投入機種	投入機種	機 種	投入機種	投入機種	投入機種													機 種
箇所	個	個	m	0.28B.H	0.28B.H	0.28B.H	0.28B.H	0.28B.H	0.28B.H	0.28B.H	RC40-0	良質土	発生土	0.20BH横込	As舗装 t=15cm迄	Co舗装 t=30cm迄	Co舗装 t=15cm迄	RC40-0	As20F t=10cm	M40-0 t=4cm	M40-0 t=15cm	RC40-0 t=25cm	RC40-0 t=35cm									H=2.00	m

付 帯 工 集 計 (本 管 部 + 取 付 管 部 + 影 響 部)																				
舗装切斷工	舗装版取り壊し工	AS殻、Co殻処分工		投 棄 料 等		表 層 工		不 陸 登 正		上 層 路 盤 工		表 層 工		上 層 路 盤 工	上 層 路 盤 工	下 層 路 盤 工	砂 利 道	埋 設 表 示 シ ー ト	埋 設 表 示 シ ー ト	
As舗装 t=15cm迄	コンクリート	AS舗装	Co舗装	AS舗装	Co舗装	As舗装	粗粒度	t=5cm	t=5cm	M40-0 t=15cm			As20F t=4cm	M25-0 t=10cm	M25-0 t=15cm	RC40-0 t=25cm	RC40-0 t=35cm	巾40cm	巾15cm	巾3cm
m	m	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	t	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m	m	m
137.00	1.30	152.30	0.2	6.30	0.1	15.0	15.9	9.80	6.40				135.4	62.60		62.6		72.38		72.38
137	1	152	0.2	6.3	0.1	15.0	15	9	6				135	62		62		72		72

付 帯 工 (掘削部外路盤・アスカブ・ライン)									
掘削工	残土処分工	路盤工	As殻処分工	投棄料等	ライン工			VS削溝	
m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	M25-0 t=10cm	m	m <sup>3</sup>	W=15cm	W=15cm	W=45cm	W300×300 H445	
				t	m	m	m	箇所	
					3.40	16.00			
					3	16			







# 建て込み簡易土留め工

( L = 2.50 m )

( 軽量型 )

## 1) 設計条件

1. 管 径 200 mm 2. 管 種 塩ビ管 3. 施工延長 1.00 m  
 4. 掘削方法 BH-0.28 5. 掘削幅 0.95 m 6. 掘削深 2.38 m  
 7. 土 質 (粘性土・レキ混じり土) 8. 締切延長 1.00 m  
 9. トラッククレーン規格 4.9 t 吊り

日数算出根拠 1.00m当り

## 2) 施工時間

1. 掘削時間の算定 (D1) = ( L × W × H ) ÷ Q (歩掛P15)

$$(D1) = ( 2.38 - 1.00 ) m \times 0.95 m \times 1.00 m \div 59.00 m^3/日 = 0.02 日 \textcircled{1}$$

2. 建て込み簡易土留建て込み時間の算定 (D2) (歩掛P38)

$$(D2) = ( 0.23 \div 10.00 m ) \times 1.00 m = 0.02 日 \textcircled{2}$$

掘削工合計日数 ①+② 0.04 日

3. 基礎工 (D3) (歩掛 I-11-①-17)

$$\text{基礎土量} = ( 0.95 m \times 0.416 m - 0.037 m^2 ) \times 1.00 m = 0.36 m^3$$

$$(D3) = 0.36 m^3 / 36.0 m^3/日 = 0.01 日 \textcircled{3}$$

4. 管布設工 (D4) (管 種 : 塩ビ管) (歩掛P93)

$$(D4) = 1.00 \times 0.022 \text{ 人/m/日} = 0.02 日 \textcircled{4}$$

5. 引抜き埋戻し工 (D5) (機 械 転 圧 部 分) (歩掛P18)

$$\text{埋戻し土量} = 1.00 m \times ( 2.38 m - 1.416 m ) \times 0.95 m = 0.92 m^3$$

$$(D5) = 0.92 m^3 \div 36.00 m^3/日 = 0.03 日 \textcircled{5}$$

工 程 表

工 種	日 数		日 数
	5	10	
掘削及び建て込み工	0.04		0.04
基 礎 工	0.04	0.05	0.01
管 布 設 工	0.04	0.06	0.02
引抜き及び埋戻し工	0.04	0.07	0.03
水 替 え 工			0.03

$$\text{損 料 日 数 計} = 1.00 m \div 1.00 m \times 0.08 日 = 0.08 日 \times 1.3 = 0.1 \div 0.1 日$$

$$\text{水 替 日 数 計} = 1.00 m \div 1.00 m \times \text{日} = \text{日}$$

$$\text{全 体 日 数} = 1.00 m \div 1.00 m \times \text{日}$$

# 建て込み簡易土留め工

( L = 3.00 m )

( 軽量型 )

## 1) 設計条件

1. 管 径        200 mm    2. 管 種        塩ビ管        3. 施工延長    60.00 m
4. 掘削方法    BH-0.28        5. 掘削幅        0.95 m        6. 掘削深        2.57 m
7. 土 質        (粘性土・レキ混じり土)        8. 締切延長    30.00 m
9. トラッククレーン規格        4.9 t吊り

日数算出根拠 30.00m当り

## 2) 施工時間

1. 掘削時間の算定 (D1) = ( L × W × H ) ÷ Q (歩掛P15)

$$(D1) = ( 2.57 - 1.00 ) m \times 0.95 m \times 30.00 m \div 59.00 m^3/日 = 0.76 日 \textcircled{1}$$

2. 建て込み簡易土留建て込み時間の算定 (D2) (歩掛P38)

$$(D2) = ( 0.27 \div 10.00 m ) \times 30.00 m = 0.81 日 \textcircled{2}$$

掘削工合計日数                    ①+②                    1.57 日

3. 基礎工 (D3) (歩掛 I-11-①-17)

$$\text{基礎土量} = ( 0.95 m \times 0.416 m - 0.037 m^2 ) \times 30.00 m = 10.75 m^3$$

$$(D3) = 10.75 m^3 / 36.0 m^3/日 = 0.3 日 \textcircled{3}$$

4. 管布設工 (D4) (管 種 : 塩ビ管) (歩掛P93)

$$(D4) = 30.00 \times 0.022 \text{ 人/m/日} = 0.66 日 \textcircled{4}$$

5. 引抜き埋戻し工 (D5) (機 械 転 圧 部 分) (歩掛P18)

$$\text{埋戻し土量} = 30.00 m \times ( 2.57 m - 1.416 m ) \times 0.95 m = 32.89 m^3$$

$$(D5) = 32.89 m^3 \div 36.00 m^3/日 = 0.91 日 \textcircled{5}$$

## 工 程 表

日 数	5	10	日 数
掘削及び建て込み工	1.57		1.57
基礎工	1.42	1.72	0.30
管 布 設 工	1.57 2.23		0.66
引抜き及び埋戻し工	1.57 2.48		0.91
水 替 え 工			0.96

$$\text{損 料 日 数 計} = 60.00 m \div 30.00 m \times 2.55 日 = 5.10 日 \times 1.3 = 6.63 \text{ 日}$$

$$\text{水 替 日 数 計} = 60.00 m \div 30.00 m \times \text{日} = \text{日}$$

$$\text{全 体 日 数} = 60.00 m \div 30.00 m \times \text{日}$$

# 建て込み簡易土留め工

( L = 3.50 m )

( 軽量型 )

## 1) 設計条件

1. 管 径            200 mm    2. 管 種        塩ビ管    3. 施工延長       7.50 m
4. 掘削方法    BH-0.45    5. 掘削幅        0.95 m    6. 掘削深        2.70 m
7. 土 質        (粘性土・レキ混じり土)    8. 締切延長       7.50 m
9. トラッククレーン規格            16.0 t吊り

日数算出根拠 7.50m当り

## 2) 施工時間

1. 掘削時間の算定 (D1) = ( L × W × H ) ÷ Q (歩掛P15)

$$(D1) = ( 2.70 - 1.00 ) m \times 0.95 m \times 7.50 m \div 59.00 m^3/日 = 0.21 日 \textcircled{1}$$

2. 建て込み簡易土留建て込み時間の算定 (D2) (歩掛P38)

$$(D2) = ( 0.31 \div 10.00 m ) \times 7.50 m = 0.23 日 \textcircled{2}$$

掘削工合計日数                    ①+②                    0.44 日

3. 基礎工 (D3) (歩掛 I-11-①-17)

$$\text{基礎土量} = ( 0.95 m \times 0.416 m - 0.037 m^2 ) \times 7.50 m = 2.69 m^3$$

$$(D3) = 2.69 m^3 / 36.0 m^3/日 = 0.07 日 \textcircled{3}$$

4. 管布設工 (D4) ( 管 種 : 塩ビ管 ) (歩掛P93)

$$(D4) = 7.50 \times 0.022 \text{ 人/m/日} = 0.17 日 \textcircled{4}$$

5. 引抜き埋戻し工 (D5) ( 機 械 転 圧 部 分 ) (歩掛P18)

$$\text{埋戻し土量} = 7.50 m \times ( 2.70 m - 1.416 m ) \times 0.95 m = 9.15 m^3$$

$$(D5) = 9.15 m^3 \div 36.00 m^3/日 = 0.25 日 \textcircled{5}$$

## 工 程 表

日 数	5	10	日 数
掘削及び建て込み工	0.44		0.44
基礎工	0.41	0.48	0.07
管 布 設 工	0.44	0.61	0.17
引抜き及び埋戻し工	0.44	0.69	0.25
水 替 え 工			0.24

$$\text{損 料 日 数 計} = 7.50 m \div 7.50 m \times 0.69 日 = 0.69 日 \times 1.3 = 0.9 \text{ 日}$$

$$\text{水 替 日 数 計} = 7.50 m \div 7.50 m \times \text{日} = \text{日}$$

$$\text{全 体 日 数} = 7.50 m \div 7.50 m \times \text{日}$$



1. 建込簡易土留工損料算定表

矢板長 (m)	(A),	2.00 m	2.50 m	3.00 m	3.50 m	4.00 m	4.50 m	5.00 m	5.50 m	6.00 m	合 計
最大掘削深 (m)	(B),	m	2.42 m	3.04 m	3.07 m	m	m	m	m	m	
締切延長 (m)	(C),	m	1.00 m	60.00 m	7.50 m	m	m	m	m	m	
1回締切延長 (m)	(D),	m	1.00 m	30.00 m	7.50 m	m	m	m	m	m	
対象面積 (㎡)	(E), (A) × (D) × 2	㎡	5.0 ㎡	180.0 ㎡	52.5 ㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	237.5 ㎡
損料日数 (日)	(F), 別紙工程表参照	日	0.1 日	6 日	0.9 日	日	日	日	日	日	7 日
損料 (㎡日)	(G), (E) × (F)	㎡日	0.5 ㎡日	1080 ㎡日	47.25 ㎡日	㎡日	㎡日	㎡日	㎡日	㎡日	1127.8 ㎡日

2. 運 搬 工 算 定 表

運搬する矢板長	2.0 m	2.5 m	3.0 m	3.5 m	4.0 m	4.5 m	5.0 m	5.5 m	6.0 m	積込積下重量 (運搬総重量)	
1セット (30m) 当たり重量	t	14.6 t	18.4 t	23.0 t	t	t	t	t	t	建込簡易土留工	43.0 t
セット枚数	セット	0.03 セット	2.00 セット	0.25 セット	セット	セット	セット	セット	セット	使用運搬車両	
各矢板毎の重量										12 t 車	台
運搬重量	t	0.4 t	36.8 t	5.8 t	t	t	t	t	t	2 t 割り増し	台

## (人孔数量調書)

## 令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 特環公共下水道管渠埋設工事(1工区)補助分

1号組立マンホール数量表 本管内径 200 mm下水道用硬質塩化ビニール管																																												
路線 番号	人孔 番号	人孔 深さ	組立 高さ	マンホール				副管		底版	マンホール材料																		備考															
				現況地盤高	流入管底 高さ	流出管底 高さ	落差	副管 径	直管 長		躯体ブロック								直壁ブロック								斜壁			調整リング		蓋		削孔										
											60 cm	90 cm	120 cm	150 cm	180 cm	210 cm	240 cm	30 cm	60 cm	90 cm	120 cm	150 cm	180 cm	210 cm	240 cm	30 cm	45 cm	60 cm		5 cm	10 cm	15 cm	20 mm	40 mm	11cm T-14	11cm T-25	100 mm	200 mm	200 mm					
No.	No.	m	m	m	m	m	m	mm	m	個	個								個								個			個		箇所		箇所										
473-1	473-1-2	2.58	2.64	743.07	740.511	740.491	0.020			1																														1	底 部 工			
473-2	473-2-1	2.23	2.29	742.40	740.191	740.171	0.020			1																														1	底 部 工			
小計	変更 当初									2																										1	1	2	1	2	1	1		2
合計	変更 当初									2																										1	1	2	1	2	1	1		2

塩ビ製小口径マンホール

路線 No.	マンホール No.	マンホール 深 さ	立管控除長	所用立管長	流入・流出 落 差	落差調整管 所用長	平面角度	管勾配	
								上流 (%)	下流 (%)
473-1	473-1-2	2.46	0.57	1.89			180	46	46
473-4	473-4-1	2.96	1.75	1.21	0.649		180	5	40
Σ	2			3.1					



名称	計 算 式	数 量
1. 舗装切断工 t=15cm	付帯工	
	1-1) Co舗装切断 図面より	1.3 = 1.3 m
2. 県道車道As 復旧工	2-1) 舗装取壊し工 図面より	8.1 + 8.8 = 16.9 m <sup>3</sup>
	2-2) As殻処分工 16.9 × 0.05m = 0.8	0.8 = 0.8 m <sup>3</sup>
	2-3) 舗装復旧工 図面より	15.9 = 15.9 m <sup>3</sup>
	2-4) 不陸整正 図面より	9.8 = 9.8 m <sup>3</sup>
	2-5) 上層路盤工 図面より	6.4 = 6.4 m <sup>3</sup>
	3-1) Co取壊し工 図面より	0.2 = 0.20 m <sup>3</sup>
	2-2) Co殻処分工 0.20 × 0.15m = 0.1	0.1 = 0.1 m <sup>3</sup>
3. 県道車道As エフロン部	2-3) 舗装復旧工 図面より	0.2 = 0.2 m <sup>3</sup>

名 称	計 算 式	数 量
1. ライン工	付帯工	
停止線 W=0.15m	1-1) No.473-2-1 MH付近 1.8 No.473-4-1 MH付近 1.6	
		1.8 + 1.6 = 3.4 m
止まれ(文字) W=0.15m	1-2) No.473-2-1 MH付近 8.0 No.473-4-1 MH付近 8.0	
		8.0 + 8.0 = 16.0 m

令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 特環公共下水道管渠埋設工事(1工区)町単独分

## 数量計算書

令和4年10月

管径 路線番号

φ200 箕輪町 沢 沢上南4 県道 伊那箕輪線 町道168号線、他(開削)

473-3

L= 5.00 m





(土工数量調書) 令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 特環公共下水道管渠埋設工事(1工区)町単独分

内径 200 mm下水道用硬質塩化ビニール管																																							
路線番号	人孔番号		路線延長 m	人孔外径の延長 m	基礎延長 m	掘削溝幅 m	掘削深			付帯工				土 工														備考											
	上流 No.	下流 No.					平均 m	As舗装		舗装版取壊し工		As 殻 処 分 工		掘 削 工			砂 基 礎 工			砕石戻工(管上10cm~30cm)			発生土埋戻工(管上10cm~30cm)			埋 戻 工						残 土 処 分 工							
								t<15 cm	t=30 cm	t=15 cm	t=30 cm	機種	機種	機種	投入機種	投入機種	投入機種	投入機種	投入機種	投入機種	投入機種	投入機種	発生土	発生土	発生土	砕石	砕石		砕石	精込機種	精込機種	精込機種							
																																	0.28B.H	0.45B.H	0.80B.H	0.28B.H	0.45B.H	0.80B.H	0.28B.H
No.	No.	No.	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m							
	473-3	473-3-1	+3.40m	3.40		3.40	0.95	2.49	2.77	2.63	6.8	別紙付帯工に計上				8.4		1.2				0.6				4.9				1.5			2.3			県道歩道			
	473-3	+3.40m	472-2-1	0.90		0.90	0.95	2.49	2.77	2.63	1.8	補助分にて計上				2.2		0.3			0.2												1.6			2.2			県道車道
合計	変更	当初		4.30		4.30					8.6				10.6			1.5			0.2			0.6		4.9				3.1			4.5						





# 建て込み簡易土留め工

( L = 3.00 m )

( 軽量型 )

## 1) 設計条件

1. 管 径 200 mm 2. 管 種 塩ビ管 3. 施工延長 4.30 m  
 4. 掘削方法 BH-0.28 5. 掘削幅 0.95 m 6. 掘削深 2.63 m  
 7. 土 質 (粘性土・レキ混じり土) 8. 締切延長 4.30 m  
 9. トラッククレーン規格 4.9 t吊り

日数算出根拠 4.30m当り

## 2) 施工時間

1. 掘削時間の算定 (D1) = ( L × W × H ) ÷ Q (歩掛P15)

$$(D1) = ( 2.63 - 1.00 ) m \times 0.95 m \times 4.30 m \div 59.00 m^3/日 = 0.11 日 \textcircled{1}$$

2. 建て込み簡易土留建て込み時間の算定 (D2) (歩掛P38)

$$(D2) = ( 0.27 \div 10.00 m ) \times 4.30 m = 0.12 日 \textcircled{2}$$

掘削工合計日数 ①+② 0.23 日

3. 基礎工 (D3) (歩掛 I-11-①-17)

$$\text{基礎土量} = ( 0.95 m \times 0.416 m - 0.037 m^2 ) \times 4.30 m = 1.54 m^3$$

$$(D3) = 1.54 m^3 / 36.0 m^3/日 = 0.04 日 \textcircled{3}$$

4. 管布設工 (D4) (管 種 : 塩ビ管) (歩掛P93)

$$(D4) = 4.30 \times 0.022 \text{ 人/m/日} = 0.09 日 \textcircled{4}$$

5. 引抜き埋戻し工 (D5) (機 械 転 圧 部 分) (歩掛P18)

$$\text{埋戻し土量} = 4.30 m \times ( 2.63 m - 1.416 m ) \times 0.95 m = 4.96 m^3$$

$$(D5) = 4.96 m^3 \div 36.00 m^3/日 = 0.14 日 \textcircled{5}$$

## 工 程 表

日 数	5	10	日 数
掘削及び建て込み工	0.23		0.23
基礎工	0.21 0.25		0.04
管 布 設 工	0.23 0.32		0.09
引抜き及び埋戻し工	0.23 0.37		0.14
水 替 え 工			0.13

$$\text{損 料 日 数 計} = 4.30 m \div 4.30 m \times 0.37 \text{日} = 0.37 \text{日} \times 1.3 = 0.48 \text{日} \approx 0.5 \text{日}$$

$$\text{水 替 日 数 計} = 4.30 m \div 4.30 m \times \text{日} = \text{日}$$

$$\text{全 体 日 数} = 4.30 m \div 4.30 m \times \text{日}$$

1. 建込簡易土留工損料算定表

矢板長 (m)	(A),	2.00 m	2.50 m	3.00 m	3.50 m	4.00 m	4.50 m	5.00 m	5.50 m	6.00 m	合 計
最大掘削深 (m)	(B),	m	m	3.12 m	m	m	m	m	m	m	
締切延長 (m)	(C),	m	m	4.30 m	m	m	m	m	m	m	
1回締切延長 (m)	(D),	m	m	4.30 m	m	m	m	m	m	m	
対象面積 (㎡)	(E), (A) × (D) × 2	㎡	㎡	25.8 ㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	25.8 ㎡
損料日数 (日)	(F), 別紙工程表参照	日	日	0.5 日	日	日	日	日	日	日	0.5 日
損料 (㎡日)	(G), (E) × (F)	㎡日	㎡日	12.9 ㎡日	㎡日	㎡日	㎡日	㎡日	㎡日	㎡日	12.9 ㎡日

2. 運搬工算定表

運搬する矢板長	2.0 m	2.5 m	3.0 m	3.5 m	4.0 m	4.5 m	5.0 m	5.5 m	6.0 m	積込積下重量 (運搬総重量) 建込簡易土留工 2.6 t 使用運搬車両 12 t 車 台 2 t 割り増し 台
1セット (30m) 当たり重量	t	t	18.4 t	t	t	t	t	t	t	
セット枚数	セット	セット	0.14 セット	セット	セット	セット	セット	セット	セット	
各矢板毎の重量										
運搬重量	t	t	2.6 t	t	t	t	t	t	t	

塩ビ製小口径マンホール

路線 No.	マンホール No.	マンホール 深 さ	立管控除長	所用立管長	流入・流出 落 差	落差調整管 所用長	平面角度	管勾配	
								上流 (%)	下流 (%)
473-3	473-3-1	2.38	0.57	1.81			90	20	40
Σ	1			1.81					

塩ビ製小口径マンホール

路線 No.	マンホール No.	インバート φ200 - 300												(特殊)	マンホール立管												V型自在 継手 20SR-V	落差 調整管 φ150× 1.0m	90° 曲管 90ST	蓋・保護鉄蓋 ・沈下防止板				その他材料 ・備考												
		(曲り)						(合流)							立管φ300×						自在受口立管φ300×									保護 鉄蓋	沈下 防止 板	内 蓋	塩 ビ 製 蓋	異 径 ソ ケ ッ ト	ゴ ム 輪 受 口	受 口 プ ラ グ										
		起 点	ス ト レ ー ト	ロ ッ プ	15L	30L	45L	60L	75L	90L	45Y	60Y	90Y		45	0.6	0.9	1.2	1.5	2.0	2.5	0.6	0.9	1.2	1.5	2.0											2.5	φ150								
473-3	473-3-1							1											1											1	1	1			1											
Σ								1											1																1	1	1			1						

# (汚水柵及び取付管工集計表 国道部)

令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 特環公共下水道管渠埋設工事(1工区)町単独分

名 称	規格寸法	計 算 式	数 量	名 称	規格寸法	計算式	数 量
鉄蓋(内蓋共)	重車用	取付管数量調書より	組	掘 削 工	油圧式0.20m3級B.H	3.38 × 1	3.4 m <sup>3</sup>
鉄蓋(内蓋共)	軽車用	取付管数量調書より	組	砂基礎工	洗砂(投入機種0.20B.H)	0.61 × 1	0.6 m <sup>3</sup>
標 準 蓋		取付管数量調書より	1 個	発生土埋戻工 管頂10cm~30cm	洗砂(投入機種0.20B.H)	0.35 × 1	0.4 m <sup>3</sup>
汚水柵(三方向流入タイプ)	横型 φ200-150 × 100	取付管数量調書より	1 個	埋 戻 工	再生碎石 RC40-0	0.37 × 1	0.4 m <sup>3</sup>
汚水柵(三方向流入タイプ)	縦型 φ200-150 × 100	取付管数量調書より	個	埋 戻 工	良質土		m <sup>3</sup>
ゴム製可撓支管	SRV φ200mm × φ150mm(90°)	取付管数量調書より	個	埋 戻 工	発生土	2.01 × 1	2.0 m <sup>3</sup>
支管取付工	φ200mm × 150mm	取付管数量調書より	箇所	残土処分工	一般土砂	0.76 × 1	0.8 m <sup>3</sup>
自在曲管	SR φ150mm × 0°~60°	取付管数量調書より	個	As舗装切断工	t=30cm		m
曲 管	SR φ150mm × 90°(ST)	取付管数量調書より	個	舗装版取壊工	アスファルト		m <sup>3</sup>
可撓継手	φ150mm用	取付管数量調書より	組	As殻処分工	t=15cm迄		m <sup>3</sup>
プレーンエンド直管	φ150mm L=4m		m	路面補修工	CR25-0 t=10cm		m <sup>3</sup>
プレーンエンド直管	φ200mm L=4m	1.59	1.59 m	表 層 工	国道アスファルト舗装 t=5cm		m <sup>3</sup>
取付管布設工	φ150mm	2.31 × 1+0	2.31 m	上層路盤工	m25-0 t=10cm		m <sup>3</sup>
取付管用片受け直管	φ150mm L=4m	(2.31 × 1+0) / 4	0.58 本	下層路盤工	CR40-0 t=25cm		m <sup>3</sup>
				路 盤 工	CR40-0 t=4cm		m <sup>3</sup>
				取 付 管 土 留 工	簡易土留 H=2.00	2.35 × 1	2.4 m



# (取付管1箇所当たり数量計算調書 国道部)

令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 特環公共下水道管渠埋設工事(1工区)町単独分

取付管数量調書より

官地部平均掘削延長L	1.35m
平均水路幅W1	
本管平均掘削幅B/2	0.48m
本管平均掘削深H	2.63m
平均汚水柵深H1	1.80m
取付管勾配i	20‰
宅地部平均掘削延長L7	1.00m
本管平均土被りh	
取付管延長L4 $\sqrt{(H3^2+L3^2)}$	$\sqrt{(0.514^2+2.25^2)}=2.31m$
柵土工本管側掘削深H4 $H2+L5 \times i$	$1.90+1.77 \times 20‰=1.94m$
柵土工平均掘削深H5 $(H2+H4)/2$	$(1.90+1.94)/2=1.92m$

種 別	計 算 式	計 算	数 量
掘削工	$(B4+B9)/2 \times (H5-H6) \times L1$ $+(B4+B3)/2 \times H5 \times (L7+0.1)$	$(0.900+0.900)/2 \times (1.92-0.03) \times 0.87+(0.900+0.900)/2 \times 1.92 \times (1.00+0.1)$	3.38 m <sup>3</sup>
砂基礎工	$[(B4+B5)/2 \times H12$ $-取付管断面積] \times L6$	$[(0.900+0.900)/2 \times 0.365-0.021] \times 1.97$	0.61 m <sup>3</sup>
発生土埋戻工 管頂 10cm~30cm	$[(B5+B6)/2 \times H10] \times L6$	$[(0.900+0.900)/2 \times 0.20] \times 1.97$	0.35 m <sup>3</sup>
碎石埋戻工	$(B6+B7)/2 \times H8 \times L1$	$(0.900+0.900)/2 \times 0.47 \times 0.87$	0.37 m <sup>3</sup>
良質土埋戻工			m <sup>3</sup>
発生土埋戻工	$(B6+B7)/2 \times H9 \times L1$ $(B6+B3)/2 \times H11 \times (L7+0.1)$	$[(0.900+0.900)/2 \times 0.855] \times 0.87+(0.900+0.900)/2 \times 1.355 \times (1.00+0.1)$	2.01 m <sup>3</sup>
残土処分工	掘削工-発生土埋戻工/0.9	$3.38-(0.35+2.01)/0.9$	0.76 m <sup>3</sup>
As舗装切断工		本管部に計上済	m
アスファルト 舗装版取壊工		本管部に計上済	m <sup>2</sup>
As殻処分工		本管部に計上済	m <sup>3</sup>
路面補修工			m <sup>2</sup>
表層工		本管部に計上済	m <sup>2</sup>
上層路盤工			m <sup>2</sup>
下層路盤工			m <sup>2</sup>
路盤工			m <sup>3</sup>
取付管 土留工	簡易土留 H=2.00	$1.35 + 1.00$	2.35 m

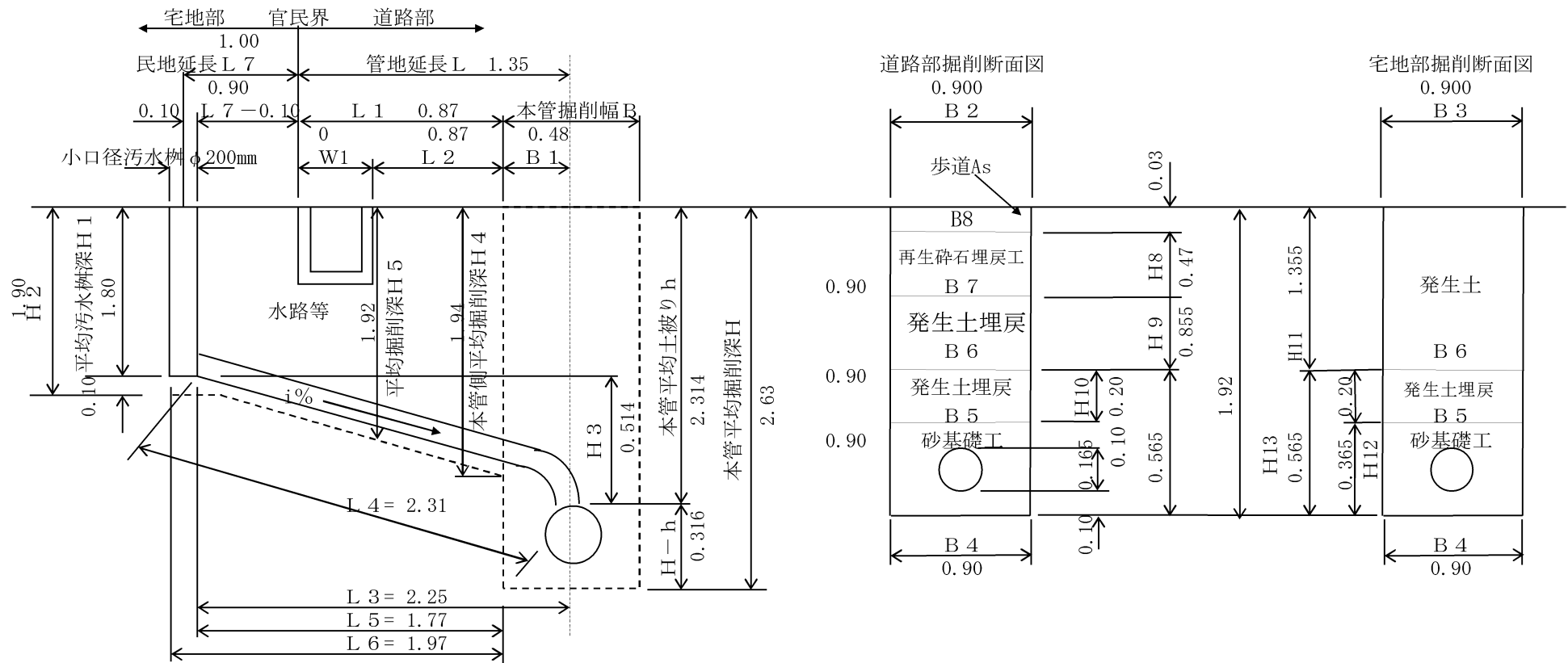
(取付管数量調書 国道部)

令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 特環公共下水道管渠埋設工事(1工区)町単独分

路線 番号	人 孔 番 号		所 有 者 名	官 地 延 長  m	民 地 延 長  m	水 路 等 の 減 長  m	本 掘 削 幅 の 1/2  m	取 付 位 置	鉄 蓋 内 共 (重車) 組	鉄 蓋 内 共 (軽車) 組	標 準 蓋  φ200 個	汚 水 樹  横 型 個	汚 水 樹  縦 型 個	ブ レ ー ン エ ン ド 直 管  φ200 m	樹 の 深 さ  m	有 効 樹 深  m	可 撓 支 管  φ150 個	自 在 曲 管  φ150 本	S T 曲 管  φ150 本	可 撓 継 手  φ150 組	備 考		
	下 流	上 流																					
	No.	No.																					
473-3	473-3-1	473-4-1	浦野	1.35	1.00		0.48	左			1	1		1.59	1.80	1.80							
合 計	変 更																						
	当 初		1箇所	1.35	1.00		0.48				1	1		1.59	1.80	1.80							
				1.35	1.00		0.48								1.80	1.80							

# 取付管数量算出標準断面図

( 県道 歩道As舗装 )



# 建て込み簡易土留め工 取付管用

( L = 2.00 m )

( 軽量型 )

## 1) 設計条件

- 1. 管 径        150 mm    2. 管 種        塩ビ管    3. 施工延長    2.40 m
- 4. 掘削方法    BH-0.28    5. 掘削幅        0.90 m    6. 掘削深        1.94 m
- 7. 土 質        (粘性土・レキ混じり土)    8. 締切延長    2.40 m
- 9. トラッククレーン規格        4.9 t吊り

日数算出根拠 2.40m当り

## 2) 施工時間

1. 掘削時間の算定 (D1) = ( L × W × H ) ÷ Q (歩掛P15)

$$(D1) = ( 1.94 - 1.00 ) m \times 0.90 m \times 2.40 m \div 59.00 m^3/日 = 0.03 日 \text{ ①}$$

2. 建て込み簡易土留建て込み時間の算定 (D2) (歩掛P33)

$$(D2) = ( 0.18 \div 10.00 m ) \times 2.40 m = 0.04 日 \text{ ②}$$

掘削工合計日数        ①+②        0.07 日

3. 基礎工 (D3) (歩掛 I-11-①-17)

$$\text{基礎土量} = ( 0.90 m \times 0.365 m - 0.021 m^2 ) \times 2.40 m = 0.74 m^3$$

$$(D3) = 0.74 m^3 / 36.0 m^3/日 = 0.02 日 \text{ ③}$$

4. 管布設工 (D4) (管 種 : 塩ビ管) (歩掛P93)

$$(D4) = 2.40 \times 0.021 \text{ 人/m/日} = 0.05 日 \text{ ④}$$

5. 引抜き埋戻し工 (D5) (機械転圧部分) (歩掛 I-11-①-17)

$$\text{埋戻し土量} = 2.40 m \times ( 1.94 m - 1.365 m ) \times 0.90 m = 1.24 m^3$$

$$(D5) = 1.24 m^3 \div 36.00 m^3/日 = 0.03 日 \text{ ⑤}$$

## 工 程 表

工 種	日 数		日 数
	5	10	
掘削及び建て込み工	0.07		0.07
基礎工	0.06	0.08	0.02
管布設工	0.07	0.12	0.05
引抜き及び埋戻し工	0.07	0.10	0.03
水替え工			0.07

$$\text{損料日数計} = 2.40 m \div 2.40 m \times 0.12 日 = 0.12 日 \times 1.3 = 0.16 \div 0.16 日$$

$$\text{水替日数計} = 2.40 m \div 2.40 m \times \text{日} = \text{日}$$

$$\text{全体日数} = 2.40 m \div 2.40 m \times \text{日}$$



名 称	計 算 式	数 量
1. 舗装切断工 t=3cm	<p><b>付帯工</b></p> <p>1-1) As舗装切断 図面より</p> <p style="text-align: right;">2.6 =</p>	<p>2.6 m</p>
2. 県道歩道As 復旧工	<p>2-1) 舗装取壊し工 図面より</p> <p style="text-align: right;">8.7 =</p> <p>2-2) As殻処分工</p> <p style="text-align: center;"><math>8.7 \times 0.03m = 0.3</math></p> <p style="text-align: right;">0.3 =</p> <p>2-3) 舗装復旧工 図面より</p> <p style="text-align: right;">8.6 =</p> <p>2-4) 不陸整正 図面より</p> <p style="text-align: right;">5.5 =</p>	<p>8.7 m<sup>2</sup></p> <p>0.3 m<sup>3</sup></p> <p>8.6 m<sup>2</sup></p> <p>4.7 m<sup>2</sup></p>

令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 特環公共下水道管渠埋設工事

特環1工区

数量計算書  
( 推 進 工 )

推進工集計(φ450mm 管推進工)

	路線延長	管体延長	ASガ ラ	推進延長	推進管	鋼管溶 接工	VU	VU	カラー φ200用	塩ビ管 挿入工	スパー サー	中込注 入工	坑外 ずりだし 工	
				鋼管φ450 L=3.0m	鋼管φ450 L=3.0m		φ200ゴム輪受口 L=4.00m	φ200接着受口 L=4.00m						
				m	m		m <sup>3</sup>	m						
No.473-2+13.00m 発進	12.00	12.00	0.5	12.00	4	3	(5.63)	3.00	2	12.00	6	1.37	1.81	
計	12.0	12.0	0.5	12.0	4	3	(5.63)	3.00	2	12.0	6	1.37	1.81	



推進工集計表(φ200mm管布設工)

	管布設延長 φ150mm	管布設延長 φ200mm	マンホール可撓継手		砂基礎工		発生土埋戻	砕石埋戻	砕石埋戻	建込簡易土留工			
			φ150用	φ200用	0.28m <sup>3</sup>	0.45m <sup>3</sup>	管上0.1m~0.3m 0.45m <sup>3</sup>	0.45m <sup>3</sup>	0.45m <sup>3</sup>	H=3.0 W=1.4	H=3.0 W=1.45	H=4.0 W=1.45	H=4.5 W=2.0
	m	m	個	個	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m	m	m	m
No.473-2+13.00m 上流部		(3.21)				1.82	0.52	0.41	8.83			3.00	
No.473-2+13.00m 下流部		(3.00)				1.70	0.87				3.00		
計		(6.21)				3.5	1.4	0.4	8.8		3.0	3.0	

立坑土工集計表

立坑 NO.	径	掘削土留工			埋戻し工			残土処分			立坑基礎		嵩上げコンクリート		グラウト及び砂		
		バックホウ	バックホウ	クラムシェル	人力	機 械		機 械			コンクリート	砕石	コンクリート	型枠	グラウト工	砂	
					発生土	発生土		バック積込	バック積込	クラム積込							
		0.28m3	0.45m3	0.80m3	発生土	0.28m3	0.45m3	0.28m3	0.45m3	0.80m3	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
mm	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>			
No.473-2+13.00m 発進 上流部	1450× 3000		15.27				5.28		8.83		0.65	0.87					上流側
No.473-2+13.00m 発進 下流部	1450× 3000		13.95				8.05		4.04		0.65	0.87					下流側
計			29.2				13.3		12.9		1.3	1.7					

# 舗装集計表

立坑番号	径	舗装版切断工		舗装取り壊し工		As殻処分工		As 塊 処 分 費 t	舗 装 復 旧							
		As	Co	アスファルト舗装		アスファルト舗装			町道アスファルト舗装				国・県道(歩道)		国・県道(仮)	
		15cm以下	15cm以下	10cm以下	15cm以下	10cm以下	15cm以下		表層	上層路盤	下層路盤		表層	路盤	表層	路盤
		mm	m	m	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
No. 473-2+13.00m 発進 上流部	1450× 3000	7.45		3.11		0.12		0.28	3.1	1.8	1.8					
No. 473-2+13.00m 発進 下流部	1450× 3000	7.45		7.65		0.31		0.73	7.7	4.4	4.4					
計		14.9		10.8		0.4		1.0	10.8	6.2	6.2					

項 目		書 式	数 量	単 位
種 別	細 別			
推 進 工		路線延長 L = 14.00 m		
衝撃式推進工	φ 450 mm 鞘管 (鋼管)	L = 14.00 m - 2.00 m	12.00	m
排土・ 坑外ずり出し工 推進部接合点～	φ 450 mm	L = 14.00 m - 2.00 m	12.00	m
鋼管溶接工		L = 12.000 m / 3 m - 1	3	箇所
管 材				
鋼管 t=9.5mm L=3.00m/本	φ 450 mm	L = 14.00 m - 2.00 m  105.0 kg/m * 12.00 = 1260.0 kg	12.00 4 1260.0	m 本 kg
塩化ビニール管	φ 200 mm ゴム輪受け口 L=4.00m/本	L = ( 6.00 m - 0.37 ) = 5.63 ↑ 5.63 / 4 = 1.41 マルチインバート控除分	5.6 1.41	m 本
塩化ビニール管	φ 200 mm 接着受け口 L=4.00m/本	L = 12.00 m より L = 12.00 m / 4 m/本 = 3.00 m	3.00	本
	カラー φ 200		2	個
マンホール可撓継手	φ 200用			個
スペーサ		L = 12.000 m / 2 m = 6 + 1 = 7	7	個
塩ビ管挿入工			12.00	m
中込め注入工			12.00	m
中込め注入量		鋼管内径 { ( 0.4382 m <sup>2</sup> * π / 4 ) - ( 0.216 m <sup>2</sup> * π / 4 ) } * 12.000 m	1.37	m <sup>3</sup>
推進設備工			1	箇所
坑外ずり出し工		鋼管内径 0.4382 m <sup>2</sup> π / 4 * 12.000 m	1.81	m <sup>3</sup>

項 目		書 式				数 量	単 位		
種 別	細 別								
立坑土工	上流部3.0m	W =	1.45 m	L =	3.00 m	H =	3.556 m		
立坑掘削	県道 車道As	A =	1.45 m	*	1.78 m	=	2.581 m <sup>2</sup>		
立坑掘削	町道As	A =	1.45 m	*	1.22 m	=	1.769 m <sup>2</sup>		
					(3.556-0.05)				
					↓				
	バックホウ 0.45m <sup>3</sup>		2.581 m <sup>2</sup>	*	3.506 m	=	9.049 m <sup>3</sup>	9.05	m <sup>3</sup>
					(3.556-0.04)				
					↓				
	バックホウ 0.45m <sup>3</sup>		1.769 m <sup>2</sup>	*	3.516 m	=	6.220 m <sup>3</sup>	6.22	m <sup>3</sup>
舗装切断工	t=4~5cm	3.00 m	*	2	+	1.45 m	*	1	=
									7.45 m
舗装版取壊し工	t=4cm	町道部全幅							
		2.55 m	*	1.22 m	=	3.11 m <sup>2</sup>			3.11 m <sup>2</sup>
舗装殻		3.11 m <sup>2</sup>	*	0.04 m					0.12 m <sup>3</sup>
※ 県道部は開削付帯工に計上									
埋戻し									
控除土量	立坑基礎	4.350 m <sup>2</sup>	*	0.35 m					1.52 m <sup>3</sup>
	砂基礎					(0.84+1.80+0.57)			
		V= 1.45	*	0.416	*	3.210	=	1.936 m <sup>3</sup>	
								計 =	1.936 m <sup>3</sup>
									1.94 m <sup>3</sup>
	管上0.10~0.20m 発生土、碎石					(0.84+1.80+0.57)			
		V= 1.45	*	0.20	*	3.210	=	0.931 m <sup>3</sup>	
								計 =	0.931 m <sup>3</sup>
									0.93 m <sup>3</sup>
	県道部 碎石埋戻し					(DP2.1-0.20-0.20)			
		V= 1.45	*	1.70	*	1.780	=	4.388 m <sup>3</sup>	
								計 =	4.388 m <sup>3</sup>
									4.39 m <sup>3</sup>
	舗装	2.58 m <sup>2</sup>	*	0.20 m					0.52 m <sup>3</sup>
		1.77 m <sup>2</sup>	*	0.39 m					0.69 m <sup>3</sup>
								計 =	1.210 m <sup>3</sup>
									1.21 m <sup>3</sup>

項 目		書 式	数 量	単 位
種 別	細 別			
埋戻し工	発生土埋戻し	$15.270 - ( 1.52 \text{ m}^3 + 1.94 \text{ m}^3 + 0.93 \text{ m}^3 + 4.39 \text{ m}^3 + 1.21 \text{ m}^3 )$	5.28	m <sup>3</sup>
	管上0.10~0.20m 発生土	$V = 1.45 * 0.20 * (0.84+1.80+0.57) = 1.800 = 0.522 \text{ m}^3$	0.52	m <sup>3</sup>
	管上0.10~0.20m 砕石埋戻し	$V = 1.45 * 0.20 * (0.84+0.57) = 1.410 = 0.409 \text{ m}^3$	0.41	m <sup>3</sup>
	県道部 砕石埋戻し		4.39	m <sup>3</sup>
残土処分工		$15.27 \text{ m}^3 - ( 5.28 \text{ m}^3 + 0.52 \text{ m}^3 ) / 0.9 =$	8.83	m <sup>3</sup>
管 布 設 工 硬質塩化ビニール管	φ 200 mm	L = 3.21 m	開削部に計上済 (3.21) m	
砂基礎工		$1.936 - 0.216^2 * \pi / 4 * 3.21 =$	1.818	
		計 = 1.818 m <sup>3</sup>	1.82	m <sup>3</sup>
立坑基礎工	コンクリート (188-40-BB)	$4.35 \text{ m}^2 * 0.15 \text{ m} =$	0.653	0.65 m <sup>3</sup>
	基礎砕石 (RC40-0 t=20cm)	$4.35 \text{ m}^2 * 0.20 \text{ m} =$	0.870	0.87 m <sup>3</sup>
付帯工 ※ 県道部は 開削部に計上済	舗装復旧工	路面復旧幅 =	2.55	m
		舗装直接掘削積込 (アスコン t<15cm)		
		A = 2.55 * 1.22 =	3.11	3.11 m <sup>2</sup>
		残土処分工 (アスコン)		
		V = 3.11 * 0.04 =	0.12	0.12 m <sup>3</sup>
		表層工 (密粒度As20F) t=4cm		
		A = 2.55 * 1.22 =	3.11	3.11 m <sup>2</sup>
	上層路盤工 (粒調砕石M25-0) t=10cm			
	A =	1.77	1.77 m <sup>2</sup>	
	下層路盤工 (再生砕石RC40-0) t=25cm			
	A =	1.77	1.77 m <sup>2</sup>	

項 目		書 式	数 量	単 位
種 別	細 別			
土留工		$W = 1.45 \text{ m} \quad L = 3.00 \text{ m} \quad H = 3.556 \text{ m}$ 建込簡易土留 幅 1.45 m 深 4.00 m L= 3.00 m	3.00	m
軽量鋼矢板建込工 設置・撤去	II型	H=4.0 発進部前面	1.45	m
重量	II型	$1.45\text{m}/0.25\text{m}/\text{枚} \times 4.00\text{m} \times 0.0148 \text{ t/m}$  $1\text{m}^2\text{当り重量} = 0.0148 \text{ t/m}/0.25\text{m} = 0.0592 \text{ t/m}^2$	0.343	t
鏡切り工		$L = (0.4572 + 0.10) \times \pi$	1.75	m
スクラップ重量		$A = (0.4572 + 0.1)^2 \times \pi / 4 = 0.244$  $W = 0.0592 \times 0.244 \times 1$	0.014	t

項 目		書 式			数 量	単 位		
種 別	細 別							
立坑土工	下流部3.0m	W =	1.45 m	L = 3.00 m	H =	3.246 m		
立坑掘削	町道As	A =	1.45 m	* 3.00 m	=	4.350 m <sup>2</sup>		
				(3.246-0.04)				
				↓				
	バックホウ 0.45m <sup>3</sup>	4.350 m <sup>2</sup> *	3.206 m	=	13.946 m <sup>3</sup>		13.95 m <sup>3</sup>	
舗装切断工	t=4cm	3.00 m * 2	+	1.45 m * 1	=	7.45 m		
舗装版取壊し工	t=4cm	As全面	2.55 m * 3.00 m	=	7.65 m <sup>2</sup>		7.65 m <sup>2</sup>	
舗装殻		7.65 m <sup>2</sup> *	0.04 m				0.31 m <sup>3</sup>	
埋戻し								
控除土量	立坑基礎	4.350 m <sup>2</sup> *	0.35 m		1.52 m <sup>3</sup>		1.52 m <sup>3</sup>	
	砂基礎	V= 1.45 * 0.416 *	3.000	=	1.810 m <sup>3</sup>			
				計 =	1.810 m <sup>3</sup>		1.81 m <sup>3</sup>	
	管上0.10~0.20m 発生土	V= 1.45 * 0.20 *	3.000	=	0.870 m <sup>3</sup>			
				計 =	0.870 m <sup>3</sup>		0.87 m <sup>3</sup>	
	舗装	4.35 m <sup>2</sup> *	0.39 m		1.70 m <sup>3</sup>			
				計 =	1.700 m <sup>3</sup>		1.70 m <sup>3</sup>	
埋戻し工	発生土埋戻し	13.950 - (	1.52 m <sup>3</sup> +	1.81 m <sup>3</sup> +	0.87 m <sup>3</sup>			
		+ 1.70 m <sup>3</sup> )					8.05 m <sup>3</sup>	
	管上0.10~0.20m 発生土						0.87 m <sup>3</sup>	
残土処分工		13.95 m <sup>3</sup> - (	8.05 m <sup>3</sup> +	0.87 m <sup>3</sup> ) /	0.9 =		4.04 m <sup>3</sup>	



項 目		書 式	数 量	単 位
種 別	細 別			
管 布 設 工 硬質塩化ビニール管	φ 200 mm	L = 3.00 m	開削部に計上済 (3.00)	m
砂基礎工		$1.810 - 0.216^2 * \pi / 4 * 3.00 =$	1.700	
			計 = 1.700 m <sup>3</sup>	1.70 m <sup>3</sup>
土留工		建込簡易土留 幅 1.45 m 深 3.50 m L= 3.00 m		3.00 m
立坑基礎工	コンクリート (188-40-BB)	4.35 m <sup>2</sup> * 0.15 m =	0.653	0.65 m <sup>3</sup>
	基礎碎石 (RC40-0 t=20cm)	4.35 m <sup>2</sup> * 0.20 m =	0.870	0.87 m <sup>3</sup>
付帯工	舗装復旧工	路面復旧幅 =	2.55 m	
	全面復旧 町道As	舗装直接掘削積込 (アスコン t<15cm) A = 2.55 * 3.00 =	7.65	7.65 m <sup>2</sup>
		残土処分工 (アスコン) V = 7.65 * 0.04 =	0.31	0.31 m <sup>3</sup>
		表層工 (密粒度As20F) t=4cm A = 2.55 * 3.00 =	7.65	7.65 m <sup>2</sup>
		上層路盤工 (粒調碎石M25-0) t=10cm A = 1.45 * 3.00 =	4.35	4.35 m <sup>2</sup>
		下層路盤工 (再生碎石RC40-0) t=25cm A = 1.45 * 3.00 =	4.35	4.35 m <sup>2</sup>



## 建 込 簡 易 土 留 工 程 表

No473-2+13.0m 片発進立坑 上流側 H=4.0

0.0	0.4	0.4	5.4	5.8	2.2	8.0	2.2	10.2	1.7	11.9	0.5	12.4	0.4	12.8	0.2	13.0	0.4	13.4
	立坑掘削土留工		立坑底部工		仮設備設置工		推進工		廃土工		塩ビ管挿入工		グラウト工		管布設工・基礎工		埋戻し工	

建て込み鋼矢板損料日数

$$0.4 \times 3/5 + 5.4 + 2.2 + 2.2 + 1.7 + 0.5 + 0.4 + 0.2 \times 3/5 + 0.4 = 13.2 \div 13 \text{ 日}$$

0.40

13.4



## 建 込 簡 易 土 留 工 程 表

No473-2+13.0m 片発進立坑 上流側 H=4.0

0.0	0.4	0.4	5.4	5.8	2.2	8.0	2.2	10.2	1.7	11.9	0.5	12.4	0.4	12.8	0.2	13.0	0.3	13.3
	立坑掘削土留工		立坑底部工		仮設備設置工		推進工		廃土工		塩ビ管挿入工		グラウト工		管布設工・基礎工		埋戻し工	

建て込み鋼矢板損料日数

$$0.4 \times 3/5 + 5.4 + 2.2 + 2.2 + 1.7 + 0.5 + 0.4 + 0.2 \times 3/5 + 0.3 = 13.1 \text{ 日}$$

$$\approx 13 \text{ 日}$$

0.40

13.3